



おはらいの方法は、人形に息を吹きかけ、人形で体をなで、体に溜まった罪や悪いものを人形に移してしまいます。そのため、人形の別名を「撫でもの」ともいいます。悪いものを移しやすくするためか、人形には役人の顔が描かれているものもあります。なかなか個性的な顔もあります。



(顔が描かれた人形：袴狭遺跡群出土／豊岡市)

儀式の最後に、人形を水に流します。そうすることで、体に溜まっていた悪いものは人形と共に流れ去ってしまう、という仕組みです。

現在、世界では新型コロナウイルスが蔓延していますが、このような病気の流行は人類の歴史の中で何度も繰り返されてきました。古代の人々はそれに対し、国を挙げて「おまじない」をするなどして対抗しました。

そして今、私たちには科学的知識があります。広く情報を共有する手段もあります。昔と同様、国も県も様々な手段を講じています。

私たち個人がこの病気に対抗するためにできる現代の「大祓」、それは「#おうちにいよう」。昔の人が様々な難局を乗り越えてきたように、私たちもがんばりましょう。人形たちもお会いできるのを待っていますよ。

(学芸課 中村 弘)